アナログ電子回路の講義の進め方

2009, 4/13 松澤　昭　岡田健一

講義計画予定（進行に応じて変更する場合があります）

4/13　導入と半導体デバイス（基礎・ダイオード・バイポーラトランジスタ）
4/20　バイポーラトランジスタの残りと MOS トランジスタ
4/27　基本増幅回路とトランジスタのバイアス
5/11　小信号等価回路
5/18　各種接地方式　　（この日は岡田先生の教室:S222 に集合のこと）
5/25　周波数特性
6/1　特性変動・バラツキ・雑音
6/8　カレントミラーとバイアス回路
6/15　中間試験（予定）
6/22　差動増幅回路
6/29　負帰還回路技術
7/6　演算増幅回路
7/13　CMOS 演算増幅器の設計
7/24　発振回路　（金曜日）
7/27　A/D・D/A 変換器
8/4　期末試験（予定）

テキスト資料：松澤・岡田研究室のホームページ http://www.ssc.pe.titech.ac.jp/の Lecture からダウンロードして用いること。今後配布はしない。
なお、２章の電気回路解析の基礎は既に学んだことなので、直接講義はしないが、復習のために良く読んでおくこと。

宿題と演習：　講義の終わりに演習問題を出す。教員や TA に聞いても良い。これを宿題とするので、次回の講義に持参すること。講義の初めに解説をする。解説が終わったら、提出すること。宿題の答案に解説を書き込んでもよい。この宿題の提出をもって出席点とする。処理の終わった答案は講義の最初に返却する。

成績評価：中間試験 40%、期末試験 40%、出席点 20%として評価する。

その他：授業にはノート、筆記用具、<u>関数電卓</u>を持参すること。
　　できるだけ前の方に着席をし、私語を慎むこと。